

普及 「地味で過酷なスポーツというイメージから

水辺やインドアで楽しめるボートへ」

ボート専門部 南稜高等学校 松尾 亜里紗

1 日本ボート協会の2つの方針

①競技力向上

オリンピックでのメダル獲得へ向けたジュニアからの強化

②ボート人口増大プロジェクト

市民レガッタからマスターズレガッタまで

お台場レガッタ、外濠レガッタ、全日本マスターズ、戸田インターナショナルマスターズ
各地方でのマシンローイング大会



2 埼玉県ボート専門部としての取り組み

①中学クラブ選手への積極的な関わり

プラチナキッズ、TBCの選手への用具、練習相手の提供
県内や大学付属校への進学先についての相談



②ドラマやバラエティ番組収録への手伝い

「がんばっていきまっしょい」「レガッタ」「まごまご嵐」「愛という名のもとに」

*ドラマ放映後、入部希望数が増加する

③大学クラブへの進学

進学先 早稲田、明治、中央、法政、日体大、東京経済 等



④市民レガッタの開催・補助

戸田レガッタ、県民レガッタ、市民ボート教室、彩湖ボート教室、夕涼みレガッタ、
北戸田イオンでのマシンレガッタ

3 エルゴメーターを他競技のトレーニングでもクロストレーニングとして取り入れている

○コンセプトIIジャパン HP より抜粋

『ローイングエルゴメーター』はボート競技選手のトレーニングマシンとして1981年にアメリカで開発され、その精巧さ、強靭さから、瞬く間に世界各国で選手のトレーニングに採用されました。現在ではアメリカ、日本をはじめ、世界各国でナショナルチームのメンバー選考にも取り入れられ、「Concept2を使ったことのないボート選手は世界に存在しない」といわれるほどの普及ぶりをみせています。海外ではF1ドライバー、サッカーイ



ギリス代表、メジャーリーグ、NBAなど数多くのアスリート、そして軍隊までもが使用しているマシンです。

イギリス国防省は、兵士のフィジカルトレーニングに Concept2 ローイングエルゴメーターを正式採用しており、ボスニア、コソボを含むすべてのイギリス軍・NATO 軍の地上基地に延べ 3,000 台以上が標準装備されています。日本国内でも、警視庁機動隊・埼玉・山梨県警、サントリーラグビー部・プロスポーツ選手のトレーニングに採用されるなど徐々に普及し始め、オリンピック代表選手のトレーニング器機としても使用されました。ボート漕ぎ運動は全身運動・有酸素運動であり、高いカロリー消費を伴うため、性別、年齢を問わずトレーニングからフィットネス、ダイエット、リハビリと幅広く利用されているのです。

また、精巧なパフォーマンスモニターを標準装備しているため、選手の体力測定にも大きな力を発揮します。

2013年選抜高校野球決勝進出の浦和学院・済美もヘビーユーザー。埼玉の高校野球部では、浦和学院、埼玉栄、狭山ヶ丘、川越商業、南稜などが導入している。



(高校野球ドットコム HP より抜粋)



○パソコンと連動させたレースシミュレーションで競漕の楽しさを

- ・インドアロウイング・マシンロウイング大会で使用
- ・1台のPCに最高12台のエルゴを表示できる
- ・ダブルスカルやフォア、エイトの設定もできる (クルーの楽しさ)



4 高校でのボート選手を増やすためには

- ・戸田ボートコースの利点を生かす
- ・他競技からの流出を歓迎する
- ・大学、日本ボート協会と部員増加へ向けて協力する

